

布勢小学校 学校だより

布勢八代川

699-1433 島根県仁多郡奥出雲町八代220 ☎0854-54-9020 mail:fusetcl@town.okuizumo.shimane.jp

●学校スローガン

笑顔いっぱい夢ふくらむ布勢小学校

「いっばいっば」「元気に登校 笑顔で下校」

令和7年1月号 文責 校長 長谷川

ブログ

HP






正月休みを利用して城山に登ってみました。(と言っても車でです) 年末の雪が多少残っていましたが、山頂付近からは中国山地の山々、麓のまちや多根自然博物館などを確認することができました。さらに鳥取県の大山も柔らかに裾野を拓けるように見え、心穏やかにさせてくれました。山頂から望める遥かなる景色がこの先も永遠に続きますよう、そして、この一年が災害や事故のない穏やかな一年になりますよう心から願うばかりです。

さて、1月8日の始業式には、今年の干支である「巳」にちなんで、蛇のクイズを取り入れながら、蛇が進化の過程を経て身に付けてきた体の特徴的な機能や習性などを話しました。蛇が何度も脱皮するように、布勢小の子どもたちも自分自身を磨き、今までの殻を脱ぎ捨てて大きく成長していく姿を今年も楽しみにしたいと思います。地域の皆さん、保護者の皆さんには引き続きお世話になりますが、今年もご指導ご支援いただきますようよろしくお願いします。

←城山から見える大山。印刷ではほとんど見えませんが。

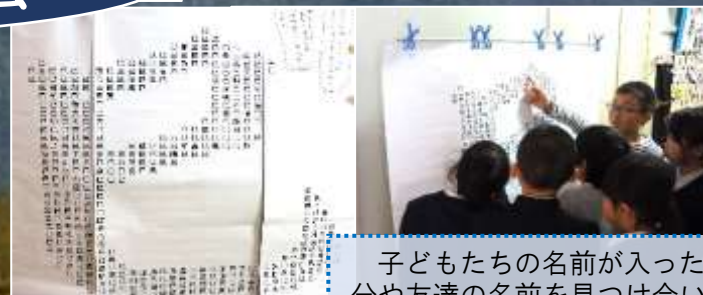


一筆入魂 書き初め会

上田さん、原田さんを講師にお招きし、書き初め会を行いました。雪がしんと降り積もり、会場の体育館は暖房もありましたが、とても冷え込んでいました。それでも子どもたちは寒さを苦とせず、集中して書き初めに取り組みました。平安時代から続いていると言われる日本の伝統的な正月行事を、凛とした雰囲気の中で今年も実施することができました。子どもたちが書いた作品は県の作品展に出品する予定です。



低学年はフェルトペンを使って書き初めを行いました。



子どもたちの名前が入った「巳」。自分や友達の名前を見つけ合いました。



★さくぶんで100もじかけるように、がんばりたいです。けいさんカードをはやくできるようにがんばりたいです。はやおきをもっとがんばりたいです。(1年)

★わたしが3学期がんばりたいことは、なわとびです。なぜかというと2学期はあまりこうさどびができなかったからです。3学期は、休みにれんしゅうしてできるようになりたいです。(2年)

3学期がんばりたいこと

★ぼくが3学期にがんばりたいことは、外国語と社会です。「What`day is it?」やabcde..などのアルファベットを勉強したので、新しい英語をおぼえたいです。社会では奥出雲のことを勉強してくわしくなりたいです。(3年)

★3学期がんばりたいことは、けんだまがいまよりもうまくなることです。大ざらや小ざらはいっぱいのせられるけど、中ざらやとめけん*1は、なかなかせいこうしないので、一ぱつでのせられるようになりたいです。もしかめ*2はいつまでもつづけられるようになるのがもくひょうです。(1年)

*1 けん先に玉を入れる技のことで。

*2 もしかめの歌に合わせ、中皿・大皿の繰り返し技のことで。

★3学期がんばりたいことは二つあります。一つ目は、6年生を送る会です。5年生との話し合いもあるのできんちょうします。でも意見をはっきり言いたいです。決まったことを書いておくのをわすれるので、そこでどう動くかわからなくなるので、しっかり聞いたり見たりしたいです。二つ目は漢字です。4年生の漢字は多く、20字の画数の漢字もあるので、とってもむずかしいからです。(4年)

★一つ目は6年生を送る会です。5年生として話し合いをすすめていきたいです。話し合いのとき、すぐに意見を出すために前日に考えておき、スムーズにすすめたいです。二つ目は体育のとびばこです。4年生のときは、こわくてなかなかとべませんでした。だから今年はこつをつかんでうまくとびたいです。…3学期は行事もたくさんあるので、気合をいれて取り組みたいです。(5年)

★ぼくが3学期がんばりたいことは、2つあります。一つ目は勉強です。中学校になると勉強が難しくなるので、がんばりたいです。1から6年までの復習をしておきたいです。二つ目は小学校生活を楽しむことです。4月には中学生になるので、小学校生活を一日一日大切にすごしていきたいです。(6年)

行事予定

1月・・・・・・・・・・・・・・

21日(火) 開校151周年記念ドリームフェスティバル

22日(水) 後期学校訪問

23日(木) 代表委員会 6年薬物乱用防止教室

24日(金) 委員会

30日(木) 昼ぱっちりタイム ストリーテリング

31日(金) わんぱくのんびりデー クラブ

*がじゅまるさんには毎週水曜日に本の読み聞かせをしていただいています。

2月・・・・・・・・・・・・・・

4日(火) 6年スーパーホッケー交流会

6日(木) ふせっこ元気週間

学カパワーアップ週間(～12日)

14日(金) 授業公開日 学習発表会(1.4.5年)

太鼓クラブ発表・地区懇談会

PTA 研修部会

18日(火) なわとび集会

スクールカウンセラー来校

20日(木) 新入生一日入学・保護者説明会

26日(水) 6年生を送る会

3月・・・・・・・・・・・・・・

18日(火) 卒業証書授与式

24日(月) 修了式・離任式



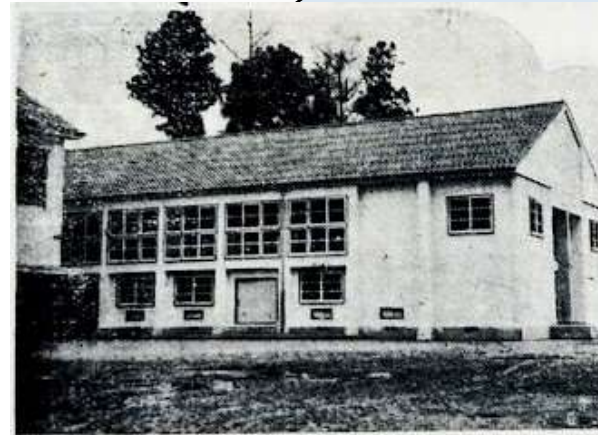
輝く布勢小の歴史を紐解く

布勢小学校も残り1年2か月あまりとなりました。151年の歴史の中で布勢小学校の歩みを大まかに振り返ってみます。現在、閉校に向けて閉校記念事業実行委員会記念誌部会において、布勢小の歴史書となる記念誌を発行するための準備もすすめられています。刊行を楽しみにしたいと思います。

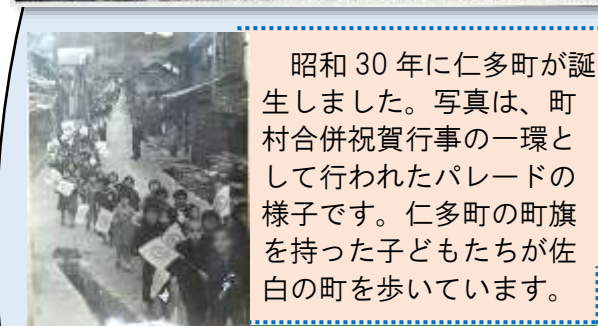
仁多町誌では、旧仁多町の5か町村において明治6年から明治10年にかけて小学校が開校したことが記述されています。旧布勢村では、馬馳小学校が1874（明治7）年に開校しており、ここが布勢小の始まりとされています。なお、「上三所小学校」の記述が学校沿革誌にはありますが、創立年は明らかではありません。1855年には、八代、佐白分教場ができました。



堂々たる白亜の体育館



馬馳の校舎時代を第Ⅱ期「馬馳の丘期」としてみました。左の写真は屋内体操場です。昭和31年に着工、5か月を経て落成されたものです。昭和32年1月には完成を祝って学芸発表会、仁多町青年団演劇発表会が盛大に開催されました。この体育館は小学校が移った後も、地域の社会教育施設として長らく利用されてきました。



昭和30年に仁多町が誕生しました。写真は、町村合併祝賀行事の一環として行われたパレードの様子です。仁多町の町旗を持った子どもたちが佐白の町を歩いています。



PTAによる奉仕作業（昭和30年）

待望の校舎 布勢中から布勢小へとバトンタッチ



今の校舎が小学校として使われるようになったのが1974（昭和49）年です。かつて現地にあった木造の布勢中学校は1964（昭和39）年に消失し、現校舎は1965（昭和40）年に完成しています。落ち着いた教育環境を取り戻そうと当時の関係者の思いが伝わってくるようなスピード感です。しかしながら仁多中の実質統合は1973（昭和48）年です。布勢中としての役目はわずか7年ほどでした。布勢中から布勢小へと学舎のバトンが渡されました。

「広報にた」の1面を飾った完成した校舎の周囲は田んぼが広がり、植木もほとんどなかったようです。

各時代の教育行政の在り方により校名が変更されたり、合併されたりしました。義務教育が4年から6年になったのが1908（明治41）年。この年から布勢村尋常小学校となり、佐白の1、2年生のみ佐白分教場に通うことになりました。1925（大正14）年8月には佐白分教場がなくなり、1つの学校になりました。



八代の町でのラジオ体操の様子です。昭和初期と思われます。

「広報にた」には次のように書かれています。「創立以来満百年の歴史をあゆんだ布勢小学校の丘は奇しくも百年目に社会教育の場とかわりました…」



1973年3月には創立百周年の記念式典が行われました。馬馳の校舎での学びを終える意味合いもあり、感慨深いものだったことでしょう。

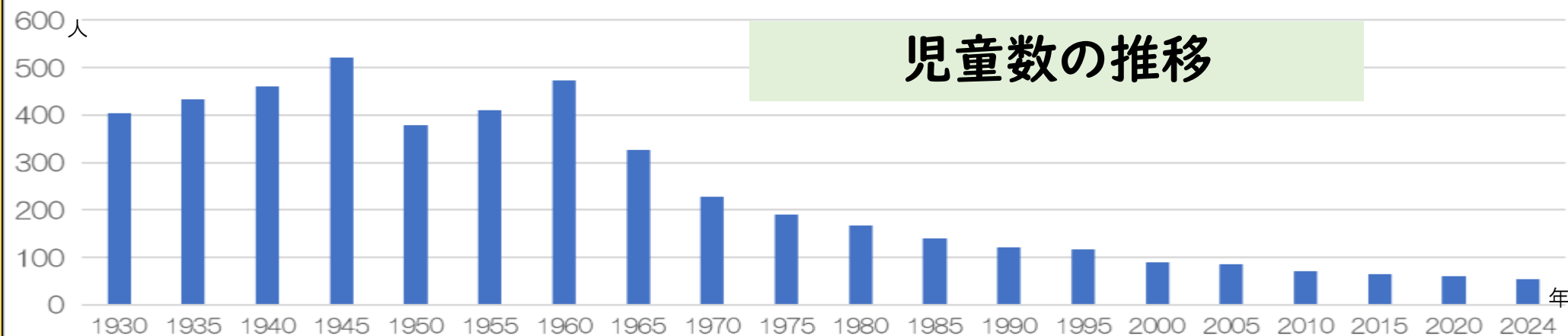


1980（昭和55）年には体育の森がPTAのご尽力により完成しました。当時全国学校体育指定校として体力づくりの研究がすすめられ、体力づくりの一貫として作られたのが体育の森です。長らく本校のみならず他校の子どもたちの体力増進に貢献してきましたが施設の老朽化のため、ほとんどの施設が撤去され、今はひっそりとした森になっています。



1988（昭和63）年には校舎が増築され、体育館、図書室、理科室、図工室ができました。

大正5年度から5年ごとの児童数の推移をまとめてみました。終戦の年の1945年（昭和20年）が最も多く521名の在籍がありました。2度目のピークは1958年（昭和28年）の508名です。ここからの10年間で200人減少しています。今世紀には100人を切る人数になっています。（今年度は53名です）



児童数の推移

「よき子ら二百」

布勢小学校の校歌の一節に「よき子等二百」という歌詞があります。実は会議室に昭和41年に新たにできた時の校歌が飾られていますが、そこには「よき子等三百」と書かれています。校歌が作られて間もなく児童数が300人を割り込み、いつの間にか「二百」と代えて歌ってきたようです。現在は100人を割って久しいですが、「よき子等二百」のまま歌っています。